

昇華転写における「ガス抜け転写紙」の重要性と新世代転写紙

『Rapido』

ガスと水蒸気の適切なコントロールが、印刷品質のムラを抑え安定生産を実現します

昇華転写はインクを高温加熱して固体から気体（ガス）へ変化させ、素材に染み込ませる方式です。転写中は大量の昇華ガスと、紙や周囲の水分が蒸発した水蒸気が発生します。これが適切に逃げられないと、色ムラ・気泡跡・ぼやけ・にじみ・ゴーストといった品質不良の原因になります。

ガス抜け転写紙のメリット

1. 転写ムラを大幅に軽減

発生したガスを背面へスムーズに逃がすことで、転写紙と素材の間の滞留を防ぎ、圧力を均一に保ちます。（※ロゴやインク量の少ないデザインでは通常紙でも十分な場合があります）

2. 高濃度・インク量の多いデザインに強い

スポーツウェア等の濃色ベタや全面柄、写真デザインではガス量が一層増加します。ガス抜けタイプはこうした過酷な条件で真価を発揮し、生産ロスを削減します。

選ぶ際の注意点（デメリット）

構造上、発色が若干下がることもある

ガスを逃がしやすい構造のトレードオフとして、製品によっては稀に発色が弱く感じられたり、色合わせの微調整が必要になるケースがあります。

【懸念される問題点】

- ・思ったような色が出ず、作業効率が低下する
- ・「インクまで一緒に逃げているのでは？」という不安

弱点を完全に克服した新世代転写紙『Rapido』

弊社が提供する『Rapido』は、従来の「ガス抜け紙＝発色が弱くなる」という弱点を完全に克服しました。

【発色比較テスト結果】他社製品（②～⑤）と Rapido（①）の比較

転写後の「紙」を並べると差は一目瞭然。他社製品にはインクが多く残っているのに対し、Rapidoは残った色が明らかに薄いことが実証されています。これは、それだけ多くの色素がしっかりと素材側に移行された証拠です。

※テスト結果画像は詳細解説版をご参照ください。

🌟 圧倒的な乾燥の早さも兼ね備えており、高速生産ラインとの相性も抜群です！

まとめ：「ガスが抜ける＝悪い」ではない

ガス抜け性能はインクを逃がすためのものではなく、余分なガスや水蒸気をコントロールして転写面を安定させるための先進技術です。特に【高濃度印刷 / 大判昇華転写 / スポーツウェア / 高速生産ライン】において品質向上に大きく貢献します。すべての用途に必須ではありませんが、「転写率の最優先」か「生産安定性の重視」か、自社の用途に合わせて選ぶことが大切です。ガス抜け転写紙は、品質を極限まで安定させるための最適な選択肢です。